

現代社会の問題解決に対してビジネス的な観点から起業する若者が増えていく。彼らは社会起業家(ソーシャル・アントレプレナー)と呼ばれている。従来、介護、子育て、環境、教育等は地域住民に平等に提供されなければならないため行政サービスとして行われてきた。しかし、どうしても画一的、硬直的になりやすい行政サービスでは地域住民は満足せず、新しいニーズへの対応が今、求められている。その担い手として社会起業家に期待が高まっているのである。

兵庫県にNPO法人アミティエスポーツクラブ(以

SPORTS MUST CHANGE

谷塚 哲



下「アミティエ」というという地域スポーツクラブがある。サッカーを中心とし、野球、卓球等の指導を行っているこのクラブには5000人を超える会員が在籍している。主たる事業として関西圏を中心にスポ

行っている。代表の赤尾修氏いわく、「従業員の生活の安定こそが、クラブを繁栄させる。クラブに愛着を持って仕事をしてもらうには、クラブも従業員に責任を持たなければならぬ」という信念から、地域のス

会起業家なのである。今まで社会起業家という分野が注目される傾向が強かった。これらの問題は私たちの直近かつ身近な出来事であり、当然そこに注目が集まることは不自然で

起業家が地域変える

ーツ指導を行っており、5000人を超える会員にスポーツをする環境を提供しているのである。

スポーツクラブでありながら積極的に従業員を雇用しているのである。こうなると、スポーツを通じて十分に地域社会の問題(スポーツ環境の提供や雇用の促進)の解決に取り組んでいることになり、赤尾氏は立派な社

域社会の問題(スポーツ環境の提供や雇用の促進)の解決に取り組んでいることになり、赤尾氏は立派な社

期待が寄せられている。そう考えれば地域にあるスポーツクラブも地域社会の問題解決に十分貢献しているのではないだろうか。スポーツを通じて地域社会の問題を解決しようと志し、地域のスポーツクラブを立ち上げる、これは立派な社会起業家なのである。

さらにアミティエは指導者や事務員を含め100人近い従業員を雇用している。新卒の採用も積極的

は無い。しかし、数年前から文部科学省や日本サッカー協会はスポーツをする環境づくりを提言している。スポーツの振興のみならず、体力の向上や医療費の削減、子育てや介護、地域コミュニティづくりに

近い将来、社会起業家の特集に「スポーツが地域社会を変える」という見出しが載ることを大いに期待したい。これこそがスポーツを文化にするための唯一の方法なのである。

(REGISTA有限責任事業組合代表)